

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

## ①地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

※第7期宇部市高齢者福祉計画に基づいて、①から④は全て取り組む項目とし、①については重点施策（★）として必須、②から④については各センターが地域特性に応じて1つを重点施策（★）として選択

自己評価 基準	◎目標や取組に対し、業務が十分に評価できるものであり、他のセンターに対しても模範になるものがあった ○目標や取組に対し、業務が予定どおり遂行できた △目標や取組に対し、何らかの理由により一部業務が遂行できなかった
------------	--

(令和2年12月末現在)

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
東部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★既存のサロン（6か所）や同法人が行っている教室（2か所）への参加継続</li> <li>★地域住民が集う場にて健康づくりや介護予防について啓発する。 … 両校区2か所以上</li> <li>★地域のまつり、金融機関や店舗等の協力を得て血圧測定などの健康チェックや健康相談の実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン等への参加 7か所/8か所</li> <li>・健康づくり・介護予防の啓発 1か所/両校区2か所</li> </ul>
東部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>★介護健康教室、健康相談窓口の継続開催 … 参加者数500人</li> <li>★地域サロン教室などあらゆる場面を活用した新総合事業の普及啓発</li> <li>★広報誌を年3回開催し、各関係機関とのネットワーク構築を行う</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護健康教室参加者数 247人/500人</li> <li>・広報誌の発行 2回/3回</li> </ul>
西部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★自治会や集いの場における健康づくり・介護予防活動の支援 … 3回</li> <li>★地域・保健福祉支援チームと協働した新たな相談、啓発の場づくり … 1か所</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり・介護予防支援 7回/3回</li> <li>・新たな相談・啓発の場づくり 1か所/1か所</li> </ul>
西部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>★健康教室等、地域の集まりの場を生かした介護予防の取り組みを実施する</li> <li>★新規相談時や更新時に新総合事業について説明を行い、本人の希望や状態に応じ適切なサービスの利用につなげる</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教室、サロン 23回開催・285人参加</li> <li>・ご近所福祉 5回開催・53人参加</li> </ul>
中部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域住民が足を運びやすい場所を利用して、介護予防教室を開催する らら健康教室を今年度も引き続き継続したい</li> <li>★子ども食堂を毎週行い、地域の子どもたちが安心・安全に過ごせる場作りを行う。貧困や教育の格差抑制の一助として取り組む</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症のため休止 (らら健康教室・子ども食堂)</li> <li>・地域の集いの場を1回開催</li> </ul>

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

### ①地域ぐるみの健康づくり・介護予防の推進

(令和2年12月末現在)

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
中部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域のサロン、健康教室、地域の集まりの場を活かした介護予防の取り組みを実施</li> <li>★相談受付時に介護予防・日常生活支援総合事業について十分説明を行い、適切なマネジメントに繋げていく</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の取り組み</li> <li>サロン：4か所・18回実施</li> <li>健康講話・体操：8回実施</li> </ul>
北部東	<ul style="list-style-type: none"> <li>★介護予防・日常生活支援総合事業についてパンフレット等を用いて十分な説明を行い適切なケアマネジメントに繋げていく</li> <li>★閉じこもり・不活発のリスク等介護予防の重要性を講話により伝えていく</li> <li>★楽しく取り組める介護予防を目指し、サロンやコミュニティに対し高齢者でも取り組めるスポーツ体験を企画する</li> <li>… 各校区1回</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防の取り組み</li> <li>厚東：0回/1回</li> <li>二俣瀬：1回/1回</li> <li>小野：5回/1回</li> </ul>
北部西	<ul style="list-style-type: none"> <li>★サロンや集いの場に積極的に参加し、健康づくりや介護予防の推進を行う</li> <li>★地域の団体と連携し、健康づくりの取組を行う</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや集いの場への参加 12回</li> <li>・地域の団体との連携</li> <li>老人クラブ：1回</li> <li>船木支え合い会議：1回</li> <li>万倉健康福祉部会：1回</li> </ul>
南部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域のサロンに参加して、健康づくりや介護予防に取り組める内容や企画をサポートするとともに、参加者に周知啓発活動を行う</li> <li>… サロン参加者 35人/月</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン参加者 118人/9か月</li> <li>(サロン休止中は民生委員と協力し、自宅のできる体操のチラシを配布)</li> </ul>
南部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域住民が、地域にある運動施設やプログラム、サロンや健康教室の活動内容を知り、関心を持つことによって積極的に参加することができる</li> <li>★2地域で毎月行っている健康相談会を担当3地域に拡大する</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康情報誌を毎月発行</li> <li>・健康相談会の開催 3校区/3校区</li> </ul>
中間評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響によるサロンの休止等はあったものの、再開後はサロンへの参加や健康づくり・介護予防活動等、各センターとも積極的な取り組みが行われている。</li> <li>・総合事業の説明や普及啓発についても適宜行われており、自立支援に向けたケアマネジメントが実施されている。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響で高齢者が家に閉じこもりがちになることによる健康への影響が危惧される中、フレイル予防を目的とした取り組みの推進や、サロン等の通いの場への積極的な関与が必要である。</li> </ul>		

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

### ②認知症高齢者支援

※第7期宇部市高齢者福祉計画に基づいて、①から④は全て取り組む項目とし、①については重点施策（★）として必須、②から④については各センターが地域特性に応じて1つを重点施策（★）として選択

自己評価基準	◎目標や取組に対し、業務が十分に評価できるものであり、他のセンターに対しても模範になるものがあった ○目標や取組に対し、業務が予定どおり遂行できた △目標や取組に対し、何らかの理由により一部業務が遂行できなかった
--------	--

（令和2年12月末現在）

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
東部第1	★認知症があっても地域で安心して暮らせるように地域住民に対し認知症に対する理解を深めていく … 認知症サポーター登録者数 300人 ★既存の認知症カフェ開催の協力（2か所）や新たなカフェ開催について検討（両校区1か所以上）	○	・認知症サポーター登録者数 145人/300人 ・認知症カフェの開催協力・新規開催の検討 0か所/2か所
東部第2	★認知症サポーター養成講座 … 登録者数 400人以上（両校区1回以上） ★認知症カフェ設立に向けた取り組み … 各校区1か所	○	・認知症サポーター登録者数 15人/400人 ・認知症カフェ設立支援 1か所
西部第1	★認知症サポーター養成講座の開催 … 3か所（30人）	◎	・認知症サポーター養成講座の開催 3か所・90人 ・認知症SOS模擬訓練 リモートで実施・41人参加
西部第2	★認知症高齢者が地域で安心して生活できるよう、地域の力を生かした見守り体制の充実を図る ★認知症高齢者やその家族の身近な相談窓口として、早期相談につながるよう、周知活動を行う	○	・認知症カフェ 1回開催（オンライン開催） 9人参加 ・認知症サポーター養成講座の開催 2回・33名
中部第1	・認知症サポーター養成講座を、昨年度に引き続き中学校で行うようにする 小学校等にもサポーター養成講座を新規で行う ・るるるカフェを行い、認知症に対する周知活動を行うようにする（2回） ・認知症に対する講師依頼は積極的に受け入れる	△	・コロナ感染症のため休止

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

### ②認知症高齢者支援

(令和2年12月末現在)

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
中部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症について学ぶ機会をつくり、認知症高齢者やその家族が安心して暮らせる地域づくりを行う</li> <li>・認知症サポーター養成講座を行い、認知症の方に寄り添いながら対応ができるような見守り体制づくりを行う</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症カフェへの参加 1か所</li> <li>・頭の健康チェックの共催 1回</li> <li>・認知症に関する講話 1回</li> <li>・認知症サポーター養成講座 開催なし（コロナ禍のため）</li> </ul>
北部東	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域の多くの人に認知症について正しい知識を持ってもらう。本人もその家族も安心して暮らせる優しい地域を支援チームと連携しながら目指す</li> <li>★当センター職員が認知症に対する専門知識を深めるために積極的に研修会等へ参加し、スキルアップを図ることで認知症講座を開催できる体制を作る</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラバンメイト養成研修 1回参加</li> <li>・認知症に関する出前講座の実施 1回</li> </ul>
北部西	<ul style="list-style-type: none"> <li>★認知症サポーター養成講座の開催 … 各校区1回以上</li> <li>★認知所カフェの開催と周知 … 6回/年</li> <li>★認知症SOS模擬訓練の開催</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座 6回/各校区1回以上</li> <li>・認知症カフェ 3回/6回 ※リモート開催・11事業所と連携して実施</li> <li>・認知症SOS模擬訓練 開催打診中</li> </ul>
南部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★認知症に対する理解を深め、当事者と家族を支える地域づくりを目指す</li> <li>認知症サポーターの養成 … 30人/年</li> <li>認知症カフェの開催支援 … 2か所</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーターの養成 12人/30人</li> <li>・認知症カフェの開催支援 1か所/2か所</li> </ul>
南部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵便局、金融機関、病院、薬局、商店など高齢者が立ち寄る場所へチラシを配布、相談窓口として周知をはかる</li> <li>・認知症予防講座や認知症サポーター養成講座を各校区（3地区）で開催する</li> <li>・地域の認知症カフェの継続支援や、歩いて集まれる場所を見つけ、小さなサロンや相談会の開催を地域に提案、運営を支援する</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に関する周知啓発活動や、サロン等の開催の地域への提案等を随時実施</li> </ul>
中間評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により、認知症サポーター養成講座や認知症カフェを計画どおり開催することができなかったセンターが多いものの、認知症カフェや認知症SOS模擬訓練のリモート開催など、先進的な取り組みも見られた。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、認知症カフェのリモート開催等コロナ禍における手法を工夫しながら、認知症があってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、認知症に対する理解や見守り体制づくりに努める必要がある。</li> </ul>		

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

### ③障害と介護の連携

※第7期宇部市高齢者福祉計画に基づいて、①から④は全て取り組む項目とし、①については重点施策（★）として必須、②から④については各センターが地域特性に応じて1つを重点施策（★）として選択

自己評価基準	◎目標や取組に対し、業務が十分に評価できるものであり、他のセンターに対しても模範になるものがあった ○目標や取組に対し、業務が予定どおり遂行できた △目標や取組に対し、何らかの理由により一部業務が遂行できなかった
--------	--

(令和2年12月末現在)

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
東部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害サービスから介護サービスへスムーズに移行できるように障害圏域相談事業所や関係機関と情報交換や連携・調整を図る</li> <li>・障害福祉制度についての知識不足や経験不足もあるため研修会への参加や地域ケア会議などで事例を通して理解を深めていく</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉制度についての研修会への参加 3回</li> </ul>
東部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地域ケア会議（東部ブロック会議）を年12回開催し、「医療・福祉・障害の連携」をテーマに支援者間で情報共有を行い、障害サービスから介護サービスへの移行ができるよう関係機関との連携を図る。民生児童委員と関係機関との意見交換会を年1回実施し、高齢者や障害者が地域で安心して過ごせるよう見守り支え合う体制づくりに取り組む</li> <li>・圏域の民生委員協議会や自治会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東部地域ケア会議回数 1回/12回（書面開催）</li> <li>・民生委員との意見交換会 0回/1回</li> </ul>
西部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害との合同ブロック会議を高年齢総合支援課と共催</li> <li>・障害の特性や制度を理解するため保健医療福祉関係者に向け研修を行う</li> <li>・福祉なんでも相談窓口を活用し、共生社会づくりの推進を図る</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合同ブロック会議 開催なし</li> <li>・保険医療福祉関係者向け研修 開催なし</li> <li>・障害者等新規相談 9件</li> </ul>
西部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携を図り、障害サービスから介護サービスへの円滑な移行や、複数の課題を抱える家族への支援等を行っていく</li> <li>・介護サービスや障害サービスの柔軟な活用に向けて、研修や勉強会を通じて、職員の知識を深める</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア個別会議の開催 3事例</li> </ul>
中部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害サービスから介護サービスへ移行できるように関係機関との連携を図る</li> <li>・民生児童委員と関係機関との意見交換会を年1回実施する</li> <li>・障害関係機関と一緒に関わることで情報共有を丁寧に行う。基本的な支援内容や制度の学びなおしを行う</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害関係機関との連携 5件</li> </ul>

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

### ③障害と介護の連携

(令和2年12月末現在)

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
中部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害サービスから介護サービスへスムーズに移行できるように、障害圏域相談事業所や関係機関と連携し情報共有、支援していく</li> <li>・ 障害福祉制度の理解、移行をスムーズに行うためにも、研修・勉強会を通して職員の知識を深めていく</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害関係機関との連携 2件</li> <li>・ 障害について理解を深めるための勉強会の開催 1回</li> </ul>
北部東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修等に積極的に参加し、センター職員が制度の理解を深めていく</li> <li>・ 対象者やその家族が障害福祉サービスから介護保険サービスへ不安なく移行できるよう、関係機関と連携しながら丁寧に対応していく</li> <li>・ ケアマネージャーが不安なく移行できるよう、研修会を開催するなど制度の情報を提供していく</li> <li>・ 福祉なんでも相談員と連携する</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当する研修はなかったが、実際の事例において関係者と連携しながら対応した</li> </ul>
北部西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害から介護保険へスムーズに移行するために、障害事業所と連携を図る</li> <li>・ 複合的課題への支援について障害の圏域事業所と福祉なんでも相談員とで定期的なケース会議を行う</li> <li>・ 介護の日のイベントなどを連携して開催する</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害から介護への移行 3件</li> <li>・ ケース会議の開催 3件</li> <li>・ イベントの開催 コロナ禍により中止</li> </ul>
南部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別ケア会議等を通じて、障害サービス関係者との垣根を越えた関係作りからネットワーク構築につなげる</li> <li>・ 福祉なんでも相談員と連携し、障害と介護の縦割りではなく、ワンストップで切れ目ない相談窓口を目指す</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害サービス関係者と個別ケア会議を開催 2件</li> <li>・ なんでも相談員と連携し、複合的課題を持つ世帯を支援</li> </ul>
南部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉なんでも相談員とともに障がい等地域支援ブロック会議や研修会に積極的に参加し、情報収集を行うとともに関係性を強化、顔の見える支援体制づくりを行う。</li> <li>・ 障害者サービスから介護サービスへの移行や複合利用が円滑に行えるよう行政機関や相談支援事業者と情報交換を行うとともに、課題の解決に向けての対応力向上を図る</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害、ひきこもり、若年認知症研修へ参加</li> <li>・ 社協、相談支援事業者との協働</li> </ul>
中間評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害関係機関との合同ブロック会議や民生児童委員との意見交換会は開催できなかったものの、個別の事例については障害関係機関や福祉なんでも相談員と連携し、概ねスムーズに対応ができています。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害サービスから介護サービスへ、本人や家族に不安なく移行できるよう、引き続き関係機関と連携していく必要がある。そのための体制づくりとして、今年度開催できていない合同ブロック会議や民生児童委員との意見交換会の開催についても、コロナ禍の状況を踏まえつつ検討する必要がある。</li> </ul>		

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

### ④地域支援体制の強化

※第7期宇部市高齢者福祉計画に基づいて、①から④は全て取り組む項目とし、①については重点施策（★）として必須、②から④については各センターが地域特性に応じて1つを重点施策（★）として選択

自己評価基準	◎目標や取組に対し、業務が十分に評価できるものであり、他のセンターに対しても模範になるものがあった ○目標や取組に対し、業務が予定どおり遂行できた △目標や取組に対し、何らかの理由により一部業務が遂行できなかった
--------	--

(令和2年12月末現在)

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
東部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域・保健福祉支援チームと協働、また福祉なんでも相談担当者等と連携し地域ケア会議や個別の地域ケア会議等で地域課題の抽出を図り必要な支援や社会資源の創出に取り組む</li> <li>コンビニやスーパー、美容院等の新たな関係機関のネットワークの構築を図り見守りや支援体制を強化していく</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア個別会議・地域支え合い会議 6回開催</li> </ul>
東部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域団体代表者による「支え合い会議」を継続開催し地域のネットワーク構築を行う</li> <li>地域ケア個別会議による個別ケースの検討について積極的に行い、地域課題や効果的な取り組み、手法等について広く共有することにより、地域全体の支援やケア力の向上を図る</li> <li>社会福祉協議会や地域保健福祉支援チームと連携し、市の健康づくり事業に参加協力する</li> <li>民生委員協議会等、関係者連携会議へ参加し、関係者との情報共有及び連携を図る</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支え合い会議 &lt;西岐波&gt; 1回/3回 &lt;常盤&gt; 4回/3回</li> </ul>
西部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人たちや地域の団体（民生・児童委員、校区福祉委員、地区社会福祉協議会、自治会連合会等）関係機関（市社会福祉協議会、地域・保健福祉支援チーム、ふれあいセンター、医療機関等）と協議を行う場（地域支え合い会議）を定期的または不定期で設ける</li> <li>西部ブロック会議（地域ケア会議）を活用する</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域支え合い会議 12回</li> <li>西部ブロック会議 1回</li> <li>民生委員協議会定例会への参加 13回</li> </ul>
西部第2	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民、地域・保健福祉支援チーム、関係機関と連携し、誰もが安心して暮らしやすい、地域の実情に応じた支え合いの体制づくりを行う</li> <li>地域の課題を見いだせるように、地域ケア会議（毎月）、地域ケア個別会議（年3回以上）を行う</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ケア会議 1回開催・29人参加</li> <li>地域ケア個別会議 5事例開催</li> </ul>
中部第1	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域ケア会議を10件行う</li> <li>★民生委員・自治会長など地域の方、生活支援課、地域・保健支援チーム・高齢者総合支援課のスタッフとの同行訪問（30件）</li> <li>★民生委員・自治会長・コンビニや郵便局・地域の方からの電話相談への対応（30件）</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>18件/10件</li> <li>61件/30件</li> <li>122件/30件</li> </ul>

## 令和2年度宇部市地域包括支援センター事業実施状況について

### ④地域支援体制の強化

(令和2年12月末現在)

センター名	各センターが設定した事業計画・成果指標	自己評価	実績/目標値
中部第2	<p>★支え合い会議等に参加し、地域課題に対する支援、集いの場づくりや担い手の育成について協議を行っていく</p> <p>… 10回/年</p>	○	<p>・10回/10回</p>
北部東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくし連絡票とチェックシートを活用し、高齢者の見守りに重点を置き協議を行う（厚東）</li> <li>・移動手段としてのデマンドバスを活用した試験的運用と協議を行う（二俣瀬）</li> <li>・アンケートによる情報収集を行う中で周知活動と利用状況の把握を行う（小野）以降、協議を重ねていく</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふくし連絡票の活用：1件</li> <li>・民生委員・福祉委員の交流会を開催：1件</li> <li>・サロン単位で試験的運用：1件</li> <li>・有償ボランティア団体に関するアンケート：1件</li> </ul>
北部西	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の団体や地区社協、支援チームと連携し、支え合い会議の開催を継続する</li> <li>・金融機関や店舗など地域の事業所とネットワークの構築を図る</li> <li>・地域ケア個別会議を行い、地域課題を顕在化し、地域資源の創出へつなげていきたい</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い会議 7回開催</li> <li>・山銀やうべの里生徒会、楠こもれびの郷などで展示や相談窓口開設</li> <li>・地域ケア個別会議 1回開催</li> </ul>
南部第1	<p>・障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで住みなれた地域で暮らすことができる仕組みを、地域住民や支援チーム、社協等の関係機関と共に検討していくために「支え合い会議」を開催する。恩田校区ではこれまで通り2ヶ月に1回開催して内容の充実を目指し、岬校区では、今年度からの開催を目指す</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い会議 恩田：4回開催 岬：開催に向けた打合わせを実施 支援チーム・社協との打合わせ：4回開催</li> </ul>
南部第2	<p>★個別ケア会議や支え合い会議を通して、地域課題を地域住民・支援者と共有し、具体的な解決に向けた行動に移せる体制づくりを行う。支え合い会議は地域によって進捗状況が異なる為、地域の実情を関係機関で共有する必要もある</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支えあひ会議の開催 2地区/3地区</li> </ul>
中間評価	<p>・地域による差はあるものの、地域・保健福祉支援チームや関係機関、地域住民と連携して支え合い会議を開催し、地域課題の抽出や課題解決のための体制づくりは進められているが、課題解決を試みる体制の支援については十分とはいえない状況である。</p>		
課題	<p>・多様な課題解決へ向けて、ネットワークの構築・支援の強化は図られているが、具体的な課題解決のための仕組み作りや担い手の育成への支援が必要である。</p>		